

## I ニーズの代理人として、収益を再投資し続ける (公益性と非営利性を常に確認し続ける)

NPOや社会事業家の本質は、公益性と非営利性にあります。あなたの団体の活動は、社会のニーズにもとづいていると言えるでしょうか？ ニーズを常に確認し、それに応えるために、活動や体制を変化させているでしょうか？

私たちNPOや社会事業家は、「そのことがらについて、なぜ(why)、どんな人や対象のために(for whom)、どの程度まで(how far)」取り組む必要があるのかというニーズを、当事者に代わって代弁し、あるいは当事者の代表として発信すると同時に、自分たち以外の団体や行政・企業などの力も借りて、ともに実現するプロセスをデザインし、推進を促すプロデューサーでなければならぬのです。

NPOとは、Not-for-Profit(またはnon-profit) Organization(非営利組織)の略ですが、正確には「民間公益非営利活動組織」と理解すべきでしょう(図表0-1)。〈※2〉

※2 内閣府のウェブサイトでは「様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し収益を分配することを目的としない団体の総称」と定義しています。

「民間」とは、官＝行政から独立し、自立して運営していること。行政から影響を受けず、依存しないことです。方針や日常活動の進め方などを判断する上での自律(意思決定の自律)と、財政上の自立(資金調達の自立)の2つがポイントです。

行政からの委託を受けた事業を行うことは、社会の中での役割を担うという点では重要ですが、しかし、その受託金が団体の収入の大半を占めてしまう場合において、団体は行政から独立・自立し、影響を受けずに依存していないと言えるでしょうか。

「活動」とは、考えている・話し合っているだけでなく、課題の解決や理想の実現のために行動すること。「組織」とは、「何を実現すべきか」「いつまでに、どれだけ実現すべきか」という、目的を共有している人々の集まりです。

「公益」とは、私益(自分だけのため)・共益(自分たちだけのため)、つまり利己ではなく、その活動を必要としている、人々や、歴史・文化・芸術や自然環境、生き物といった対象のため、すなわち「利他」のために行うことです。〈※3〉

※3 「公益とは、不特定多数のため」と解説する人もいますが、隣人である難病の少年の手術費用を集める募金活動や、出身地近くの湖といった、特定の対象のための活動には公益性はないでしょうか？ また、多数のための活動は、少数のための活動より、常に公益性が高いのでしょうか？

自分がしたいこと(ウォンツ)ではなく、求められていること(ニーズ)にもとづいて行うからこそ、その活動に共感する人が集まり、労力や資金などを提供して協力する人たちの輪が広がります。趣味のために活動する同好会やサークルと、NPOとの違いは、その目的が「自分たちのウォンツ」を満たすことか、それとも「社会のニーズ」を満たすことか、にあります。

「非営利」とは、営利＝「収益の配分」のためではなく、「収益を社会に再投資する」ために行うことです。

収益とは、収入から経費を差し引いた残りのこと。営利組織の代表と言える株式会社は、株主や従業員といった閉じた対象者だけに、収益を配分することが目的です。しかしNPOでは、収益を単に配分しない(留保して蓄積する)だけでなく、よりよい社会づくりのために再投資することを目的に掲げ、その実践を情報開示して伝える必要があるのです。

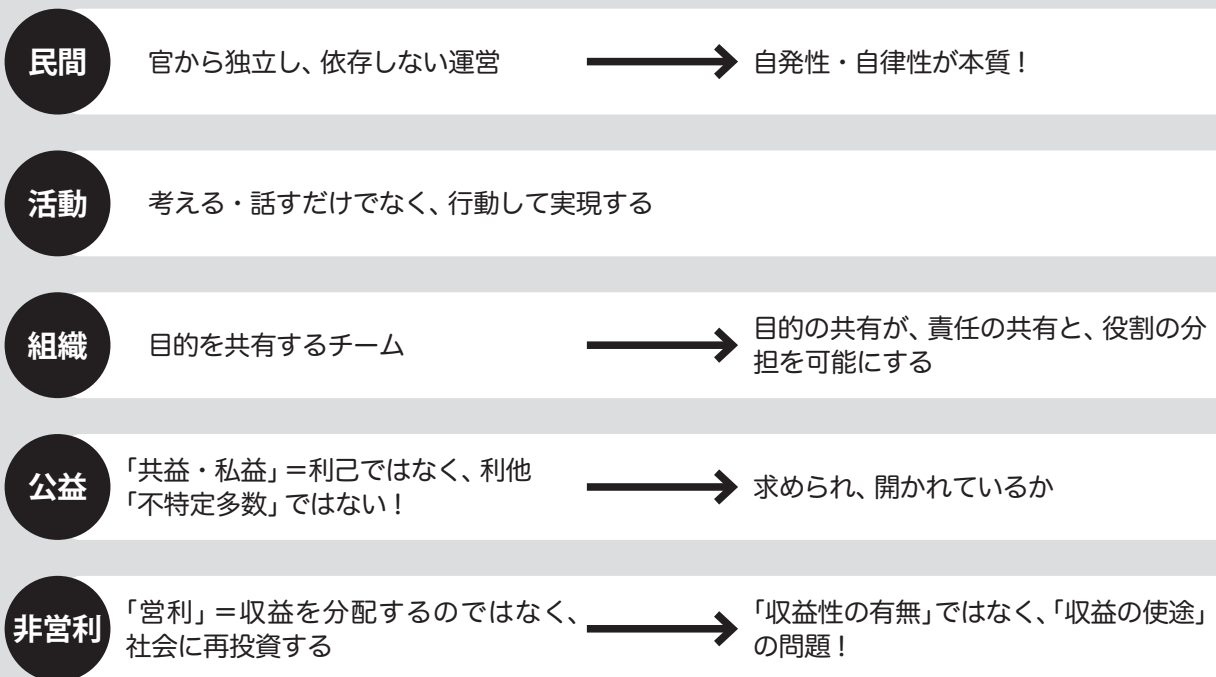
NPOや社会事業家は、ニーズに基づく活動を継続するために、自ら積極的に資金を集める必要があります。行政や企業など、外部から与えられた資金の範囲内だけで行うなら、その下請け業者にすぎないからです。集めた資金を活動に投じつつ、収益を確保して次のニーズに備えて投資することが、社会の変革に挑み続ける市民組織としての、基本的なプロセスです。

活動は、始めるより続ける方が難しいのが現実です。その最大の理由は、当初のメンバーはニーズに突き動かされて活動を始めますが、続けるうちにメンバーも増え、結果として、ニーズに応えることよりも、自分たちがしたいこと（ウォンツ）だけに取り組みたいと感じる人たちが増えてしま

うからです。

よりよい社会を実現するために活動するというなら、社会の変化に応じて、ニーズの進化を見据えつつ、まず自分たち自身を変える意欲や力が求められていることを、忘れないようにしましょう。

図表0-1 NPO (Not-for-Profit Organization) →民間で公益かつ非営利の活動を継続する組織



図表0-2 NPOも同好会も「市民活動団体」

	事業や活動は、何のため・誰のため？	何を満たすために事業・活動する？	必要な資源はどうまかなう？
NPO	<b>公益</b> =利他 必要としている人・ことのため	<b>ニーズ</b> =求められること	受益者負担は求めつつ 不足は寄付・助成・補助など、 <b>公費で補う</b>
同好会・サークル	<b>共益・私益</b> =利己 「私たちだけ」のため	<b>ウォンツ</b> =したいこと	<b>自費</b>

ニーズへの共感を得るために、ニーズをどう把握し、表現できるか？